改定内容・機能説明 (平成22年7月)

● 極楽「体系プロ」プロフェッショナル Ver.7.30

・Win-Roadからのデータ引用

『Win-Road Ver.6.00』に対応しました。

データ引用の前に、「Win-Road フォルダの設定」でデータフォルダの確認を行って下さい。

🙁 極楽 体系プロ			
ファイル(F) 工種(K) データ I/O(D) データ集計(S) 各種数量(C) ヘルプ(H)			
NA R R	測点データ(V)	Wi	n – Roadフォルダ指定
	曲線データ(X)		「₩in-Road」システムの「₩rSys」フォルダの中にある "SYSPATH.TXT" 又は "SYSPATH.DB" を探してください。
	不施工区間(Y)		
	初期設定(Z)		データフォルダ C:¥VinRoad¥vrsys¥
	Win-Roadデータ取得(W)		✓ 0K Q 7#10 ¹ 検索 ¥ キャンセル
	Win-Roadフォルダの設定(I)		

システムファイルはWin-Roadのバージョンにより、ファイル名が変わります。

- ・Win-Road Ver.6.00 より前 ⇒ SYSPATH.DB
- ・Win-Road Ver.6.00 以降 ⇒ SYSPATH.TXT

データの引用は、ネットワークで繋がった別のパソコンのデータも引用できますが、下記の事項に注意 して下さい。

- ※1. 「Win-Road Ver.6.00 以降」のデータを引用する場合
 - ・特に注意事項はありません。

「Win-Road フォルダの設定」でデータフォルダの確認を行い、データを取得して下さい。

※2. 「Win-Road Ver.6.00 より前」のデータを引用する場合

Win-Road Ver.6.00 よりも前に作成したデータは、Windows Vista/7 ではサポートされていない データ形式を使用しているため、次の注意が必要です。



A・Bのパソコンには「Windows XP (Vistaより前の OS)」が、

Cのパソコンには「Windows Vista/7」がインストールされており、

Aのパソコンには「Win-Road Ver. 6.00 より前のバージョン」が、

B・Cのパソコンには「Win-Road Ver.6.00」がインストールされているものとします。

- ・パソコンAで、パソコンA・B・CのWin-Road データを取得する場合
 - ⇒ 特に問題ありません。
- ・パソコンBで、パソコンAのWin-Roadデータを取得する場合
 - ⇒ \triangle パソコンBに Win-Road Ver. 5. xx と Ver. 6 が混在している場合は問題ありませんが、 Ver. 5. xx をインストールした実績が無い場合は取得できません。
- ・パソコンBで、パソコンB・CのWin-Roadデータを取得する場合
 - ⇒ 特に問題ありません。
- ・パソコンCで、パソコンAのWin-Roadデータを取得する場合
 - \Rightarrow × 出来ません。
- ・パソコンCで、パソコンB・CのWin-Roadデータを取得する場合
 - ⇒ 特に問題ありません。

改定内容・機能説明 (平成22年7月)

・旧バージョンとの互換(旧データへのデータコンバート)

Ver.7.30から、Windows Vista/7(及び それ以降の OS) へのインストールも考慮し、ファイルの仕様を一部変更しました。

Ver. 7.30 では、旧バージョンのデータを読み込むと、読み込みの際にシステムが自動で変換を行いま すが、Ver. 7.30 のデータを旧バージョンの体系プロで読み込もうとすると、読み込みエラーが発生する か、対象データが初期値で生成されてしまいます。

この様な事象を回避する為に、Ver. 7.30よりも前の「体系プロ」へデータを渡す為のコンバート機能 を付加しました。

尚、この処理を行ったデータを Ver. 7.30 で使用しても、何も問題はありません。

<< 操作手順 >>

1. データをコンバートしたい地区を開きます。

2. メニューから「旧バージョンとの互換」を選択すると、設定画面が起動します。



通常は、この設定のまま [OK] ボタンを押して変換します。

を行うと、地区情報などが取得されます。

・「地区情報一覧」は、Ver.7.30 で作成した全地区データを、旧版の体系プロへ丸ごとコピーした い場合などに使用します。(通常は使用しません) このファイルをコピーしなくても、コピーした先のパソコンの「体系プロ」で『地区管理再構築』

3.変換が終了すると、終了メッセージが表示されますので、[OK] ボタンを押して終了します。 他の地区もコンバートする場合は、1~3を繰り返します。



 変換したデータは、エクスプローラー等を使用し、「体系プロ」がインストールされている任意の パソコンへフォルダ毎コピーするか、コピー先のパソコンで新規地区を作成し、フォルダの中身だけ をコピーして下さい。

コピー後は、コピー先のパソコンで[ファイル]-[地区管理再構築]を行って下さい。 ※コピーの際は、コピー先のパソコンの「体系プロ」は終了させた状態で行って下さい。

- ・体系ツリーマスターを「北海道建設部土木工事工種体系 H21 年 10 月改定」版に対応しました。
- ・体系ツリーマスターを「国土交通省新土木積算大系 H22 年度改定」版に対応しました。